



Tokyo Rinkai West Rotary Club

東京臨海西 ロータリークラブ

第2580地区(東分区)



クラブ会長ターゲット

「ロータリアンとしての自覚」
"Awareness as a Rotarian"

2022-2023年度 東京臨海西ロータリークラブ会長

大星 太郎



国際ロータリーテーマ

「イマジン ロータリー」
"Imagine Rotary"

2022-2023年度 国際ロータリー会長

ジェニファー E. ジョーンズ

2023年3月31日[第115回]

創立：2018年11月22日

会長：大星 太郎

副会長：三橋 晶

幹事：継岩 憲二

会報担当：菅秀平/本島厚

3月31日の卓話

「ひとり親家庭の支援について」
江戸川区子ども家庭部児童家庭課
課長 丸田綾子 様

3月17日の出席率

会員在籍者数 42名
会員出席者数 32名
会員欠席者数 10名
本日の出席率 76.19%

4月5日の卓話

「江戸川6クラブ合同例会」
パネルディスカッション

《2022-2023年度 東京臨海東RC創立27周年記念合同例会 第113回例会報》 2023年3月17日(金)東武ホテルレバント東京「吉野の間」

司会：岸会員

- 点鐘：東京臨海西RC 大星太郎 会長
- ソングリーダー：菅会員
- ロータリーソング「奉仕の理想」「四つのテスト」唱和
- 「ロータリーの目的」東京臨海西 RC バージョン

- 来賓紹介：大星太郎会長
- 東京臨海西ロータリークラブ 特別代表
東京臨海ロータリークラブ 齊藤実様
- 今年度米山奨学生 雷博強様

- 新入会員入会式：大星会長
- 新入会員：松本会員（社会保険労務士）



- ビジター紹介：北林会員
本日はいらっしやいませでした
- 会長報告・スピーチ：大星太郎会長
- 米山奨学生ライハクキョウさんへ奨学金お渡し・一言
- 幹事報告：継岩憲二幹事
- 3月のロータリーレートは1ドル136円です
- ガバナー月信3月号をメールBOX配信しました(2/24)
- ロータリーの友3月号をメールBOXに配布しました
- バギオだより3月号をメールBOXに配布しました
- 3月度定例理事役員会議事録をメール配信(3/15)しています。後方掲示板もご確認ください
- 2022年9月9日(金)10日(土)開催の地区大会の記録を参加者へ配布します
- 委員会報告
- 親睦活動委員会 岡田委員長より
2/3 新入会員歓迎会の不足分2,220円は会費請求時に請求させていただきます
- 社会奉仕委員会 伊藤委員長より
5/7 ローターアクト年次大会のご案内
(登録料だけでも)

次年度の活動報告計画について

- 職業奉仕委員会 岩崎委員長より
4/19 自事業活性化委員会のご案内

■3月のお祝い：岡田竜司親睦委員長

- ・会員誕生日 栗山会員
- ・「誕生日の歌」
- ・1分間スピーチ：(栗山会員)
- ・奥様誕生日 飯塚正裕会員夫人・河村会員夫人・栗山会員夫人
- ・結婚記念日 西野会員、島崎会員



■出席状況報告：佐藤太基会員

⇒詳細1頁バナー下の出席状況報告欄にて

■ニコニコBOX報告：熊倉貴志会員

- (ご意向) 国際奉仕フォーラム北林委員長ご苦労様です。よろしくお願ひします：齊藤実様 (東京臨海 RC・当クラブ特別代表)
- (ご意向) 本日は例会終了後、国際奉仕フォーラムです！北林委員長、宜しくお願ひします！！当クラブ三役
- (ご意向) 北林さん国際奉仕フォーラムよろしくお願ひいたします：栗山会員
- (ご意向) 北林委員長、国際フォーラムよろしくお願ひいたします：飯塚憲貴会員
- (ご意向) 国際奉仕フォーラムよろしくお願ひします！：西野会員
- (ご意向) 北林さん国際奉仕フォーラムよろしくお願ひいたします：油井会員
- (ご意向) 栗山会員お仕事のご紹介ありがとうございます！いつも感謝しております：武井会員
- (ご意向) 油井会員お仕事ありがとうございます：菅会員
- (ご意向) 国際奉仕フォーラム頑張ります^^：北林会員
- (ご意向) 鈴木会員お仕事いただきましてありがとうございます：石田会員
- (ご意向) お仕事頂きました。ありがとうございます！：熊倉会員

- 二瓶会員、平井会員、伊藤会員、本島会員
- 米井会員、坂東会員、大西会員、岸会員
- 高橋会員、岩崎会員、間野会員、島崎会員
- 岡田会員、飯塚正裕会員、松原会員、佐藤会員

【29件 112,000円 今年度累計 1,823,000円】

■点鐘：東京臨海西RC 大星太郎会長

■国際奉仕フォーラム 北林会員

「東京臨海西 RC 2022-2023 年度 クラブ国際奉仕フォーラム」

日時：2023年3月17日(金) 13時00分～14時00分(予定) 60分
場所：東武ホテルレバント東京3階「吉野の間」
参加者： 名

進行：国際奉仕委員長 北林貴臣

式次第

- 1) 13:00 開会
- 2) 13:00 国際奉仕フォーラム開始 北林委員長 (20分)
 - 国際奉仕について
 - 2580地区の国際奉仕について
 - 東京臨海西ロータリークラブの国際奉仕について
 - ポリオについて
 - 米山奨学について
 - ロータリー財団について
 - バギオ基金について
 - バギオ訪問について
- 3) 今後のバギオの在り方・方針について 齊藤実特別代表 (10分)
- 4) ディスカッション
 - バギオ訪問体験などを聞く 各テーブル (5分)
 - バギオ訪問に対する私の思いについて議論 各テーブル (15分)
 - 発表 各テーブル (5分)
- 5) 総評 大星会長 (5分)

閉会予定時刻 14:00分

国際奉仕ってというのは、国際ロータリーが持つてゐる国際奉仕。その下にある2580区の国際奉仕。それをさらに踏襲して、臨海西の国際奉仕ってというのがあるんだよっていうことを説明します。ここに書いてあるように、臨海西はポリオ、米山、ロータリー財団、バギオがあつてですね、バギオについて、今僕がよく行くんで、その辺の話を中心にして、その後、齊藤実さんに話をもらつて、それを基に、皆でちょっとディスカッションをして、それ発表という流れで、最後に大トリで大星会長の総評というのをやつてもらつて終わりっていう形になります。国際奉仕とは僕調べました。国際奉仕って何かって誰か説明できます？国際奉仕とは、奉仕の第4部門である国際奉仕は書物などを読むことや通信を通じて、さらに他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じ、他国の人々の文化や、功績、願ひ、問題に対する認識を培うことによって、国際理解親善平和を推進するために、会員が行う活動から成り立つものです。ポリオってというのは、非常に感染力の高い病気で、特に感染しやすいのは5歳未満の子供。日本では小児麻痺と呼ばれることもあります。この間エンドポリオの活動で行つて来たんですけど、「ポリオを根絶できる、みんなの力があれば」ってということで、ロータリーが支援しています。自分たちの世代は、ポリオはすごい病気でした。ポリオが根絶出来れば人類史上、根絶される第2番目の

疾病になるということです。ポリオはあと 2 カ国だけです。アフガニスタンとパキスタン。

この 2 国がなくなれば撲滅ということらしいです。皆さんの会費から、ポリオは年に 1 回、52000 円。1 人 1300 円を寄付している状態ということでした。

米山奨学についての活動は、ロータリーの米山奨学会は勉学、研究を志し、日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源とし、奨学金の支援支給する民間の奨学団体です。

今年度奨学生はライ・ハクキョウさんですね。東京臨海西ロータリークラブとしては留学生の受け入れや寄付をしております。2022 年に奨学生と共に、静岡の三島、日本 3 大清流の 1 つ柿田川に入り、みんなで外来植物の駆除してきました。

異文化交流や理解を活発に行われている。奨学生のライ・ハクキョウさんですが、2000 年 1 月 1 日生まれの中国から来ました。奨学期間が 2022 年の 4 月から 2024 年の 3 月まで、カウンセラーは西野パスト会長です。年に 1 回 8 万円 1 人 2000 円ずつ寄付をしています。ロータリー財団。1917 年、全世界的規模で慈善教育、その他の社会奉仕の分野でより良きことをするための基金を作ろうという呼びかけで創設されました。ロータリー財団は、皆様からの寄付を、各地の奉仕活動に役立てていて、1917 年当時のロータリーの会長アーチ・クランプさんが作りました。

この財団に対して、年に 40 万。1 人 1 万円を寄付しています。

最後にバギオ基金では 1903 年ロータリーができる 2 年前に、ある日本人が 125 人乗せた船がマニラについて始まったらしいですけど。

フィリピンにおける日系及び一般青少年のために教育資金を提供し、その勉学を援助いう学校支援するっていう目的で作られた基金です。年に 1 回 4 万円。1 人 1000 円を寄付しています。

バギオは、一般財団法人比国育英会バギオ基金って名前です。

日比両国の親善友好増進することを目的とする。フィリピンと日本が仲良くなるのを目的とした友好的にできるような基金ということですよ。

フィリピンは何度か行ったことがありますけど、大体いくときはセブ。すごく良い所ですよ。セブって海があってね。すごい見渡す限り海で。すごい山の中にある街です。どんな街並みなのかって言うと。今回バギオの街並みも歩かしてもらって、写真とか撮ってきたんですけど。バギオって標高 1500 m の場所にあって、平均的に 23 度ぐらいでとても過ごしやすいです。夏も冬も大体 23 度平均ぐらいで。日本人が元々移住してきて、道路作ったりとかしてるんで、日本人の墓が多くあって、今回墓参り行ったんですけど、みんな。日本人の墓がいっぱいあります。

それぐらいバギオって日本人がもう根付いてる街です。こちらが山の中にあつた道路ですね。これはもうバギオと日本人がこの 1 番友好としていて、この道路自体は現地の人も日本人が作った道路だつていうのをすごく

認識してて日本人大好きなんですよ。こちらは、平井さんと島崎さんが映ってます。

海野さんのメモリアルホールがありました。何やってるかかっていうと。海野さんが山奥で質素に生活してた日系人の母親たちから我々は貧乏には慣れていますが、何としても子供に教育を受けさせたいと悲願され、彼女が尽力したわけですね。シスター海野さんが。そして日本のロータリークラブと出会うと、ロータリークラブが彼女の思いを引き継いで、1981 年にバギオ基金が設立されて、子供達の支援をしているっていうことで、バギオ基金の支援を受け取った大学に行ってる子供達と今回交流をしてきました。これが家庭訪問ですね。

バギオを基金を受けている家庭です。そんなにお金がない家庭が多いそうです。



今回行ったところ、周りが大豪邸だらけで、格差が結構起きてるのかなっていう所で貧乏の家は本当に貧乏だし、お金持っている家はお金持ってるっていう形です。

こちらに映っているのは、ジップニという小型バスなんです。町自体が小さくて、道が狭いんで、大型バスが入れないっていうことで、こちらの小さいバスにみんなで乗り込んでその家庭に行きます。

こちらが学校です。バギオの基金を受けている小学校に対して小学校訪問をしています。小学校行くと、伝統的な踊りをして出迎えてくれます。みんな元気いっぱいでした。これはバギオ歓迎会で現地の人たちが歓迎してくれるんですね。

現地のロータリークラブで、サマーキャピタルロータリークラブって名前なんですけど。そこの歓迎を受けました。

バギオからマニラに戻ってきました。マニラの郊外を歩いていると、銃弾がいっぱい残ってますね。

マニラはまだまだ残ってます。フィリピンってもともと 1898 年までスペインの植民地でした。それ以降アメリカが植民地化するんですけど、1942 年に、日本が不法に占領してしまう。1945 年に、戦争に負けて、その後独立したフィリピンなんです。だからまだまだこう弾丸が残ってたりとか、スペインのなんか偉い人がこう銅像になってたりとか、スペインが混じったり、アメリカが混じったり日本が混じったりみたいな国みたいですね。

ホテルですね。こちらのバギオのホテルですね。こっちがマニラのホテルです。マニラのホテルきれいでしたね。バギオのホテルなんてレトロですね。

2019年のバギオと2022年のバギオと2023年のバギオの予定を出しました。僕は2019年と2023年の2つ行きました。

来年2024年のバギオの予定を緊急入手できました。これが来年の予定表です。今までは3泊4日だったんですね。3泊4日じゃなく、いきなり4泊5日になりました。

今年のは、朝9時に飛行機飛んで、2時ぐらいフィリピンに行って。3時ぐらいからバスに乗って、バギオに行って着いたのが21時ぐらい。

大星会長とが、「めっちゃ楽しかった」って言ってました。フィリピンから時間ぐらい走ったところに、第2の町クラークってのがあって、そこは泊まるホテルもリゾートホテルで、結構綺麗なホテルで、カジノもあるみたいな良いホテルです。夕方17時ぐらいに、クラークに入るというゆったりプランで多分入れていますね。だから多分4日じゃなく5日になってんだなと。欲しい人はお渡します。そういうのを踏まえて、やっぱバギオと言えば、この人ってということで、今後の課題とか展望をちょっと語ってもらいたいなっていうこと。東京臨海ロータリークラブ、東京臨海西ロータリークラブ特別代表、一般社団法人比国育英会バギオ基金副会長兼業務執行理事、地区バギオ基金委員会委員長、斉藤実様、お願いします。

【斎藤特別代表】

もうこのまま北林委員長が続けた方が、楽しいし、また来年行きたくなるような、そういった説明ですね。北林委員長からバギオ基金に関して、あり方とか方針とか、そういった物を含めて説明して欲しいと言われてました。バギオ基金って何で始まったのか、その根底にあるものの背景どういうものかっていうのを説明させていただきます。

バギオ基金の根底にあるのは、戦争っていうものが悲惨なことを招いた原因になっていると思います。

我々の年代ですと父とか祖父は、当然大東亜戦争だとか、そういった戦争に行き経験してるんです。おそらく今の若い人たちは戦争を知らない子供達だし、ちょっと話が難しいかもしれないですけども、何と言ってもやっぱパールハーバーって言われる1941年昭和16年の12月8日、真珠湾攻撃でこの太平洋戦争っていうの始まってその2時間ぐらい前に本当はですね、マレー半島のコタバルってところに日本の陸軍は上陸してるんですね。

で、その3時間ぐらい前にはもうフィリピンのそのマニラに空爆してるんで。太平洋戦争っていうのもアジア太平洋戦争と言っても過言ではないよな。フィリピンはそんなだけ、そのすごい激戦地になったっていうことは後でちょっと話したいなと思うんですけど、先ほど出ましたように、もともと米西戦争でフィリピンと、キューバと含めてスペインが統治してたんですね、そこをアメリカって

うのはアジアにその拠点を置きたいってことで、米西戦争で、フィリピンを自分の植民地にした。そこに最初はアーサーマッカーサーさんとそのダグラスマッカーサーって有名なマッカーサーの親子2代に渡って、そこを統治してたんですね。ですから、日本軍が不法ではあるんですけども、そこを攻撃してそれを追い出しちゃったんだから、そのマッカーサーが言った言葉で聞いたことあるかと思いますが「I Shall Return」と要するに「必ず私はここに戻る」という有名な言葉を残して、オーストラリアに逃げたんですね。本当は本来はもうガム裁判をしたときにはどうしても日本は負け戦で、アメリカもフィリピンは島国も多いし、ゲリラも多いんでそこは避けて、要するに沖縄本土決戦でこの戦争を終わらせようと思ったんだけど、そのマッカーサーがその作戦会議でフィリピンを取り戻さなければ、この戦争は終わらないということで、レイテ沖海戦を作戰したわけですね。

我々ロータリーの世代の仲間には、海軍に行ってたお父さんがいて、武蔵に乗って、レイテ沖海戦で沈没されちゃったと。バギオも行ってもいいんだけど、そのレイテ島だとか、ダバオだとか、そっちの方まで回ってくれば行くよっていう人が結構大勢いるんですね

あそこで亡くなっているという相当な数の戦死者がいたんですね。その日系人の苦しみというのはもっともあって、要するにフィリピンだけじゃなくて、ブラジルのコーヒー園だとか、それからハワイのサトウキビ畑だとか、そういったところにも大勢日本の労働者とか移民というのはかなり行ってたんですね。それで、豊かな邦人社会を築いてたんですけども。この日系人がたくさんいて、ジャップと呼ばれて苦労した中には、アメリカ史上最強の陸軍と言われた442連隊っていうのをご存知だったりしますかね？これはアメリカに忠誠を誓って誓約書を書かされて日系人のみで作られた部隊なんですね。アメリカの象徴とも言われる。テキサスレンジャー部隊がヨーロッパ戦線でナチスドイツに四方を囲まれちゃった、そのテキサス部隊が400数名しかいなかったんですけど、それを救うためにこの442連隊というのはそこに派遣されて、数字的に12000とも15000とも言われる人たちが当たって砕けろっていうか、合法ブロックっていうことで、それを撃破して、そのテキサスレンジャーに部隊を助けたという話もあるんですね。そういうことによって、その日系人がアメリカ人に社会的にも認められたということでそういう我々の先駆者のその日系人とか、そういう人達っていうのは大変苦労したという話を聞きました。ですから、そういった根底にありながら、我々ロータリアンとしてこれからどうするかということで、北林委員長の方からもお話があったように、これからのあり方っていうのは、寄付を集めるだけじゃなくて、この間、西の5周年の時にたまたま隣座ったんで、クラウドファンディングなんかそういうものを作って集めようとか。それから公益財団法人しようかというようなことで話したんですね。

我々の仲間にもハズキルーペで有名な、吸収合併して急に大きくなった会社の人なんかは300万とか400

万ドーンと寄付くれたんですね。そうすると公益法人になっれば免税になるんで、「なんでやんないの？」って言うけど、やはりあの公益法人にしちゃうと、なんかあった時に辞めることが出来ないんです。

ということは国に返さなきゃいけない。そうすると、今まで我々ロータリアンが築いてきたそのバギオ基金というものが根底から基本的なものは無くなっちゃうんで、一般財団法人のままでいいんじゃないかなというふうなことを僕は思ってるんですけど。そういった寄付金の集め方とか、そういった物もこれからいろんな方法があるわけですね。それと、日系人もご存知のように4世、5世の時代になってきてるんで、正直言って今バギオ基金の周辺の子供たちも対象にしちゃうわけですよ。ですから、米山奨学生じゃないですけども、できればその向こうのバギオ基金の奨学生の中から優秀な子を2人でも3人でもね、日本に呼んであげて、日本の大学目指して、社会人に成長させてあげたいなということで、そういう方にも力を入れようかなと。

北海道大学に4人受けたんですけど、ちょっと4人とも全員落っこっちゃって。

今月の末に名古屋大学の発表があるんですけど、国立は厳しいかなって感じもするんですよ。準備期間ちよつとなかったんで。ただ国立だと学費も安いんで寮も完備してるんで、それで額によっては英語の授業してるんで、全然問題ないんですね。ですからそういったところになんとか潜り込ませようかなと思って。

もう1つは駅伝の中の最近非常によくなっている。東京国際大学が池袋に大きなキャンパスができるんですよ。そこにも一応4名申し込みにしてるんで、何人が受かってくれれば。

そうすれば学生さんとかいう例会だとか、そういったところにも顔出せるし。呼んでいろんなレクリエーションもできるかなと思うんで、そういった形で、これからバギオ基金の方も継続していきたいなと思っています。

それから先ほど、あの北林さんの方から話があった、20年ぐらい前はこの4泊5日でゆったりした工程で行ってたんですね。

若い人達っていうのはなぜか経営者も若い人たちがいるんで、4泊5日になると厳しいかなと思うんですけど、できればこれだと1日チャリティゴルフもできるし、観光もできるし、余裕ができるんで、今日この後皆さんでディスカッションあるということなんで、ある程度の余裕持った4泊5日のコースがいいのか、やっぱり今まで通りサイズを入れると1日だけ休めば3泊4日で行けますよね。そういうコースがいいのか、まあ、その辺はちよつと皆でこう話し合っただけであればありがたいというふうに思ってます。

どうぞよろしく願います。ありがとうございました。